



「活力ある農林水産業 農山漁村を目指して」

3月10日参議院予算委員会（集中審議）で質問

予算委員会で農林水産施策を総理に問う

3月10日の予算委員会で、これまで全国を訪問し、自ら見て・聴いた農林水産業・農山漁村の現状を説明しつつ、今後の農林水産施策について、石破総理大臣と江藤農林水産大臣に政府見解を伺いました。
総理からは、この間の私の活動実績に対し高い評価をいただきとともに、力強い答弁をいただきました。

地方創生の1丁目1番地は農林水産業の振興だと考える。地方創生と農林水産業の振興について見解を伺う。

総理…日本の農林水産業は世界有数の潜在力がある。豊かな国になるには、これを最大限生かす必要がある。そのため、コストカット型から高付加価値創出型の産業に変え、所得を上げ、就業者を増やす必要がある。

合理的な農産物価格の形成には生産者、消費者双方の理解が重要。価格形成に向けた取組について伺う。

農相…生産から販売のどこかが極端に不利益を被る産業は駄目になる。消費者が御苦労されているが、生産現場にシワ寄せ過ぎると、生産者がいなくなり、結果として国民が困ることになる。消費者にも了解いただき合理的な価格形成に資する法律を創設する。

基幹的な農業水利施設の保全に向けた見解を伺う。

総理…漏水等の突発事故が多くなっている。農業者の申請で実施してきたが、計画的更新のため、土地改良

法を改正し、国等の発意で対応できるようにする。また、国土強靱化実施中期計画は、5ヶ年加速化対策（15兆円）を上回る水準が適切との考えに立ち、農業水利施設の老朽化対策も、盛り込むべく検討を進める。

土地改良区の運営基盤・体制強化に向けた今後の対応は。

農相…土地改良区は、資材価格高騰等で運営が大変であり、やはり国がしっかりと対応する必要がある。「水土里ビジョン」を通じて、市町村とも連携し、経営改善や再編を進めたい。食料安全保障を確立し、農業の生産性の向上や農家の所得を確保するには、土地改良は大変肝になる。

森を育むことは、国土を守り農と海を育てることにつながる。循環型林業の実現に向けた見解を伺う。

総理…新しい技術を開発し、中高層の建物に木を使うなど、都市に森をつくるという考え方はCO₂削減の意味でも極めて大事である。コストを下

令和7年度予算が成立

令和6年度補正予算を加えた土地改良関係予算は6500億円（260億円増）、林野関係予算は4484億円（80億円増）、水産関係予算は3183億円（13億円増）を確保しました。資材単価等の高騰により、事業進捗状況に影響が生じていますが、効率的・効果的な予算執行に努めていきます。

また、予算増額の要望が多い多面的機能支払交付金については、食料・農業・農村基本法に位置付け、500億円（15億円増）を確保しましたので、活用頂ければと考えています。

げ、人材を集積し、利用を増やことで、可能性は無限に広がる。

海洋環境の変化に対応した資源管理の充実、スマート水産業や海業の推進が必要ではないか。

総理…所得を上げ、資源管理を行い、海に親しむことなどを進めるとともに、スマート水産業でコストと時間を削減していきたい。水産大国日本を復活させたいと考えている。



国土交通委員会で質問

3月24日の国土交通委員会で、農業用水の水利権、国土強靱化実施中期計画、物価上昇を踏まえた公共工事の対応、国産材の利用拡大について質問しました。

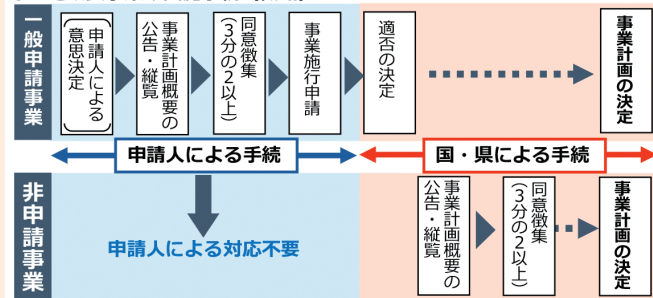
土地改良法改正法案が成立

3月27日参議院農林水産委員会で土地改良法改正のねらい、改正内容、予算確保等について質問しました。

基幹的な農業水利施設の計画的な更新

土地改良事業は、基本的に農業者の申請に基づき実施しますが、**基幹的な農業水利施設（頭首工、用排水機場等）の更新について、国又は県の発意による事業の実施も可能**としました（申請人による手続きが不要）。

○土地改良事業の実施手続（概略）



地域の農業水利施設等の保全

土地改良区が、**市町村その他の関係者と連携して、「連携管理保全計画（水土里ビジョン）」を作成し、農業水利施設等の保全を行う仕組み**を設けました。

制度拡充等

施設維持管理支援と土地改良区の運営基盤強化の充実

水土里ビジョン策定の支援（上限300万円定額）を行うとともに、ビジョンに位置付けた施設について、

- 施設の整備補修の**補助率を引上げ**（土地改良施設維持管理適正化事業 30% → 40%）
- 国営造成施設等の管理費に係る**補助率を引上げ**、国造施設を管理する改良区と**連携してビジョンを策定する改良区も支援**（水利施設管理強化事業 実質 19% → 25%）

防災・減災、国土強靱化のための措置

迅速に事業実施できる急^{きゅうせ}施の事業（同意徴収などを省略）に以下を追加

- 老朽化による**事故が生じるおそれがある場合の事前の対策**
- 事故が発生した施設で**類似の被害を防止するための対策**
- 自然災害で被災した際の**再度災害防止のための改良復旧**



豪雨による再度の被災



パイプラインの漏水のしみ出し

スマート農業や担い手のニーズに対応した

基盤整備を推進

- 農業者の費用負担がない**農地中間管理機構関連事業を市町村でも実施可能**としました。



ほ場の大区画化、情報通信基盤の整備

- 土地改良区が**情報通信基盤の整備を実施**できることとしました。



遠隔監視による水管理

党大会で公認証を拝受

3月9日の党大会において、第27回参議院議員通常選挙比例代表議員候補者として石破総裁より公認証を頂きました。皆様の応援に励まされるよう頑張っています。



宮崎雅夫通信・メルマガ等の申込みは、HP又は国会事務所まで

参議院議員 **宮崎雅夫** 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 610 号室

電話：03-6550-0610 Fax：03-6551-0610

Mail：masao_miyazaki01@sangiin.go.jp

宮崎雅夫

検索Q

●ホームページ：https://miyazaki-noson.jp/

●Facebook：https://www.facebook.com/miyazakinosen/

●LINE：http://nav.cx/nSLukr

宮崎雅夫の

東奔西走

全国各地に伺い
皆さんと意見交換



1/25 愛知県下で漁業関係者と意見交換



2/7 広島県下で市場関係者と意見交換



2/8 奈良県下で林業関係者と意見交換後貯木場を視察



3/2 党野菜・果樹・畑作物等対策委員会で沖縄県下を視察